

第九十回帝國議會
衆議院

食糧緊急措置令(承諾を求める件)委員會會議錄(速記)第十三回

付託議案審査終了ノモノヲ除ク
農林中央金庫法の一部を改正する法
律案(政府提出、貴族院送付)

昭和二十一年八月二十七日(火曜日)午
前十時三十分開議

出席委員

委員長

理事

代議士

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

議員

ハ統制組合ト云フヤウナ機關ハ、終戦
後ノ今日、即時私ハ廢止シテ戴キタイ
ノデアリマス、何故ナレバ、昨日モ申
上ゲマシタ如ク、農工品統制組合ア
リ、統制會社アル爲ニ、一枚ノ以テ七
十五錢ノ利潤ヲ取ラレテ居ルノデアリ
マス、是モ勞シテ取ルノデアリマス、
バ何等異存ハアリマセヌデスガ、勞セ
ズシテ之ヲ取ツテ居ルノデアリマス、
私此ノ實情ヲ申上ゲマシテ、當局ノ御
考慮ヲ煩ハシタイノデアリマスガ、香
川縣ノ坂出市ハ御承知ノ如ク鹽ノ產地
デアリマス、此ノ附近ノ農民ハ畢ツテ
副業ニ以テ生計ヲスルノデアリマス、
ガ、坂出附近デ出來タ以テ坂出市附近
ノ營業者ニ渡スノデアリマスナラバ、別
ニ輸送ノ手間モ掛ラケレバ、容易ク
行クノデアリマスガ、是ガ統制會社ト
云フ機關ガアル爲ニ、態々坂出市デ出
來タ以テ三豐方面ニ持運ブノデアリマ
ス、サウシテ三豐附近デ出來タ以テ坂
出市ニ持ツテ來ル、斯様ナ時代ニ合ハ
ヌコトヲヤツテ居ルノデアリマス、是
ガ爲ニ農民ハ以テ生計ヲシナイヤウニ
ナツタノデアリマス、農業會長ハ非常
ニ心配致シマシテ、態々農林省ニ出
頭致シマシテ、農林省ノ諒解ヲ得テ、
一枚ノ以テ生計ヲ致スナラバ、硫酸十匁
ヲ與ヘル、斯様ナ子供騙シノヤウナコト
ヲヤツテ居ルノデアリマス、此ノヤウ
ナコトガ果シテ時代ニ合フデアリマセ
ウカ、統制會社ト云フヤウナ「トシネ
ル」會社ガナカタナラバ、以テ生計
ハ幾ラデモ出來ルノデアリマス、是ハ
單ナル農工品ノ統制會社ノ一例デアリ

マスガ、帝國新製統制株式會社ヲ致シ
マシテモ、燃料統制組合ニ致シマシテ
モ、薪炭ノ出廻リガ、ナイ爲ニ、生計
ヲシタナラバ地下足袋ヲ與ヘルトカ、
作樂服ヲ與ヘルト申シマシテモ、斯様
ナ機關ガアツタナラバ、如何ニ地下足
袋ヲ與ヘルモ薪炭ノ出廻リハ惡イノデ
アリマス、諸統制會社ガアル爲ニ、多
クノ諸ノ腐ラシタト云フコトハ、戰爭
中事實ガ證明致シテ居ルノデアリマ
ス、斯様ナ統制機關ハ、戰爭中ニ出來
タ東條軍閥ノ惡政ノ遺物デアリマス、
一日モ早く之ヲ廢止シテ戴キタイ、昨
日當局ノ答辯ニ依リマスレバ、何レハ
廢止スルト云フヤウナコトヲ申サレマ
シタガ、何時頃之ヲ廢止スルノデアリ
マスカ、何時頃之ヲ廢止スルノデアリ
マスカ、尙ホ斯様ナ東條惡政ノ遺物デ
アル機關ニ農林中央金庫ノ金ヲ貸付ケ
テ居ルト云フコトハ、如何ニモ我々農
民ノ了解ニ苦シム點デアリマス

昨日第二番目ニ御尋ネ致シマシタ食
糧管團デアリマスガ、是モ戰爭中出來
タ遺物デアリマス、私昨日管團ノ不正
ニ付テ少シ申上ゲタノデアリマスガ、
食糧管團ハ我々農民ノ復元セヌノ
デアリマス、私ハ俵ハ農民ニ還元スベ
キガ正當ダト思フノデアリマス、私ハ
過去十箇年香川縣ノ縣會議員トシテ、
議場ニ於テ之ヲ叫ンダノデアリマス、
ナゼナラバ、俵ハ昔カラ常人足一人役
ト申シマシテ、農家ノ人足一人掛カラ
ナケレバ出來ヌノデアリマス、是モ昔
ハ俵ハ米ニ附イテ居ツタノデアリマス
ガ、現在ハサウ容易クハ參ラヌノデア

リマス、俵ガ米ニ附イテ居ツタ時代
ハ、石油罐モサウデ、一斗石油ヲ買フ
ナラバ、罐ハ附キモノデアッタノデア
リマス、其ノ當時ノ石油罐ハ、我々ガ
賣ルナラバ四錢或ハ五錢デアッタ、俵
モ其ノ時代ハ、古俵ガ四錢五錢ノ時代
ガアツタノデアリマス、俵ハ石油罐ト
同ジデアリマス、現在石油罐ノ空罐ハ
一箇三十圓乃至五十圓致シテ居ルノデ
アリマス、農家ノ俵ハ現在一俵少クト
モ十五圓掛カリマス、原料ノ製ト人夫
賃トヲ計算致シマスナラバ、約十五圓
掛カリノデアリマス、私農民ノ立場カ
ラ、十五圓ノ俵代トシテ呉レトハ申シ
マセヌガ、セメテ農民ガ供出シタナラ
バ、俵ハ農民ノ手ニ還元出來ルヤウニ
御願ヒ致シタイノデアリマス、是ガナ
ゼ出來ナイカト云フ點ヲ御尋ネ致シタ
イ、一般消費者モ麥ハ精麥ニシ、米ハ
精米ニシテ呉レト云フ要求ガアツタノ
デアリマス、戰爭ノ終ツタ今日デアリ
マス、消費者ノ要求通り精麥、精米ニ
シテ配給スルノガ當然カト思ヒマス、
サウシテ其ノ米麥ヨリ生ズル糖ヲ家畜
ノ飼料トシ、家畜ヲ通シテ土ニ還元シ
テコソ、日本ノ循環農業ハ成立チ、増
産ガ出來ルノデアリマスガ、之ヲ一日
モ早く改メマシテ、精麥、精米ニシ、
其ノ糖ハ、一俵ノ麥ヲ精麥致シマスナ
ラバ二斗五升乃至三斗出來ルノデアリ
マスカラ、セメテ十俵農民ガ供出スル
ナラバ、糖二石還元シテ戴キタイ、只
吳レトハ申シマセヌ、公定價格ヲ以テ
農民ニ拂下ゲテ戴キタイ、米十俵供出
スルナラバ、米糖五斗農民ニ公定デ以

テ還元シテ戴キタイ、是ガナゼ出來ナ
イカ、是ガ出來ナイ爲ニ、御承知ノ如
ク農民組合員十萬ヲ持ツテ居ル新潟縣
ハ、農民自身ガ加工シテ配給シテ居ル
ト云フコトヲ聞イテ居リマス、私達モ
是ガ政府ニ於テ出來ナイナラバ、農民
ガ自身身ヲ以テ加工シ、サウシテ消
費者ニ配給スル用意ヲ準備ラ整ヘテ居
ルノデアリマス、之ヲ許スカドウカ、
此ノ點承ツテ置キタイノデアリマス

出席政府委員

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

農林事務官

ヒマス

ソレカラ又御承知と思ヒマスガ、諸會社ニ付キマシテハ、既ニ是ハ解散ノ指令ヲ出シマシテ、近ク是モ解消スルコトニナラシ居マス、斯様ニ經濟ノ實情ニ應ジ、又其ノ事情ニ應ジマシテ、統制會社ノ整理ニ付キマシテ考慮スル次第デゴザイマシテ、御諒承願ヒタイと思ヒマス

ソレカラ食糧當國ノ復元デゴザイマスガ、尤モナ話デゴザイマシテ、俄ニ付キマシテハ、何ト云ヒマシテモ容レ物ノ不足ト云フコトガ供出ニ非常ナ支障ヲ來シテ居ルト云フ事實モ我々聞イテ居リマスノデ、我々ハ出來ルダケ復元シタイト云フ方針ヲ執ツテ居リマス、唯輸送ノ關係トカ、或ハ都市ニ於テ色々其ノ復元利用サレト云フヤウナ狀況カラ致シマシテ、完全ニ返ツテ居ラナイノデアリマスガ、出來ルダケ返ス方針ヲ進ンデ居リマス

ソレカラ糠ノ問題デアリマスガ、是ハ會社戰時中支米ノ普及ガ非常ニ盛ンデアリマシテ、支米食デナケレバイケナイト云フヤウナ、體力議會ニ於キマシテモ非常ノ問題ニナツタ問題ダと思ヒマスガ、ソレニ依リマシテ一時支米ノ方法ヲ探ツタノデアリマスガ、最近ニ於キマシテハ

〔周越委員長代理退席、松岡委員長代理著席〕

榮養ノ上カラ言ヒマシテモ、ヤハリ玄米ヨリモ精米ノ方ガ宜イダラウト云フヤウナコトモ聞イテ居リマスノデ、現存ニ於キマシテハ精米ニナツテ居ルコトト思ヒマス、尙ホ今後ノ需給ノ見透シカラ致シマシテ、又國民保健ノ上カラ致シマシテ、只今御述ベニナツタヤウナ點ハ十分參考ニ致シマシテ、研究

シタイと思ヒマス

○平野(市)委員 復元デアリマスガ、概ハ公定價格ヲ農民ニ還元致シテ與レト要求スルノデアリマスガ、俵ダケハ無償デ以テ農民ニ還元シテ戴キタイ、御答辭ニ依リマスレバ、輸送ノ關係デソレガ旨ク行カナイト云フコトデアリマスガ、ソレハサウデアリマス、カルガ故ニ、大體復元ハ今當國ガ我々ニ還元スルノハ、一俵四十五錢ガ二圓五十錢ニナツテ居リマスカラ、一石ノ米ノ相場カラ二圓五十錢ヲ農民ノ方ヘ先ニ金ヲ出ス、俵ヲ返シタナラバ二圓五十錢拂ツテヤルト云フヤウニ、差引イテ取引スルヤウニ御願ヒ申上ゲタイノデアリマスガ、此ノ點ヲ承ツテ置キマス

○石川政府委員 此ノ點ニ付キマシテハ具體的ノ問題ニナリマスノデ、私共ト致シマシテハ早速食糧管理局ト連繫ヲ取リマシテ、研究致シタイと思ヒマス

○平野(市)委員 ソレデアリマシタナラバ、農民ハ慾ナコトハ申シマセヌ、消費者ニハ石川對シテ二圓五十錢安ク配給願ヒタイノデアリマス

○石川政府委員 考ヘテ置キマス

○平野(市)委員 此ノ問題ハハツキリ致シマセヌカラ、私共ノ問題ニ移ツテ参リマス、次ハ供出制度ノ問題デアリマス、今マデノ供出制度ハ、戰爭中ズツト續イテ來タ供出制度デアリマシテ、精製家ヲ殺ス掠奪方法デアリ、報奨資材等ニ依ツテ、子供騙シ的ナリ、机上計數ニ依ル天降リ式供出制度ニ過ギナイノデアリマス、増産ヲ圖ラントスルノデアリマシタナラバ、何ト申シマシテモ農民ノ生産意欲ヲ高メナカッタナラバ増産ニナラヌノデアリマス、農

民ガ増産ヲシナカッタナラバ、三合配給ヲヤルト申シマシテモ絕對ニ出來ナイノデアリマス、供出制度ガ農民ノ考ヘテ居リマス如ク自主的ニ行フノデアリマシタナラバ、三合配給ハ私ハ戰爭中デモ完全ニ行ヘテ居ツタと思フノデアリマス、現在餓死者ヲ出シテ居ルト云フコトハ、此ノ供出制度ノ誤ツタ結果デアルト、農民ノ立場カラ熟ス私共ハ老フルモノデアリマス、此ノ供出制度ヲ即時私達農民ノ申上ゲマスル如ク改メタナラバ、三合配給モ可能デアルト云フコトヲ申上ゲタイノデアリマス、先ツ此ノ供出制度ハ責任ヲ持タサナケレバナラヌト存ジマス、私ハ香川縣デアリマスガ、香川縣下ニ於テマシテモ、香川縣ノ先ツ十三階級ニ分ケ、一村ヲ五階級ニ分ケナケレバナラヌト思ヒマス、今ノヤウナ供出制度ハ、出來タナラバ其ノ作柄ヲ調査シテ割付マスル、全ク盲算法界ノ割當デアリマス、ソレデ先ニ責任額ヲ持タスコトデアリマス、土地ヲ等級別ニ分ケテ一村五階級ニ分ケル、上田、中田、下田、下田又更に三階級位ニ分ケルノデアリマス、サウシテ上田デ以テ普通ノ年米八斗、麥八斗以下區別致シマシテ、責任ヲ先ニ持タスノデアリマス、又甘藷栽培ニ致シマシテモ、是ハ山畑ノ關係モアリマスカラ、少クとも七階級位ニ區別致シマシテ、農民ノ努力ニ依レバ一千貫モ獲レル畑デモ三百貫ノ責任ヲ持タシ、次ハ二百貫、百貫、五十貫、三十貫ト云フ風ニ區別致シテ責任額ヲ先ニ持タスノデアリマス、戰爭中ノ如ク滿ハ十月ヲ過サナカッタラ、十一月ニ入ラナカッタナラバ罰ツテハナラヌ、十月ニ掘ツタ者ハ總動員法デ罰スルト云フ風ナヤカマシイ規則ヲ廢シテ、責

任額ヲ先ニ持タシテ、十月ニ掘ラウガ今頃掘ラウガ差支ヘナイ、上ノ畑デ以テ三百貫ノ責任ヲ先ニ負ハシテ置ク、サウシタナラバ諸ハ今頃出來テ居ルノデアリマス、早掘リスル者ニ獎勵金ヲ與ヘタリ、諸ラヌコトヲシナクテモ、今頃諸ハ完全ニ出來テ居リマス、私モ諸ヲ七段餘作ツテ居リマス、此ノ供出制度ハ、責任額ヲ持タスナラバ今頃諸ヲ掘ルノデアリマス、諸ヲ掘ツタナラバ後ハ大根デモ白菜デモ、如何ナルモノデモ栽培出來ルノデアリマス、二毛作出來ル、ソレヲ十一月ニ入ラナケレバ諸ヲ掘ラサヌト云フヤウナ、戰爭中キツイ法律ヲ設ケタ爲ニ、十月ヲ越シテ諸ヲ掘ル、御承知デアリマセウガ、地方ニ依ツテ諸ガ降ツテ諸ヲ掘ツタナラバ、其ノ諸ハ貯藏ガ出來ヌノデアリマス、直キニ掘ルノデアリマス、サウ云フコトヲ何等辨ヘズシテ、適當ナ時期ニ諸ヲ掘ラセヌ、斯ウ云フ點ガ非常ニ食糧問題ニ行詰リシ生ジテ居ルノデアリマスカラ、責任額ヲ先ニ持タシテ、諸ヲ上畑デ以テ三百貫、二百貫ト區別致シマシテ、責任ヲ果スナラバ何時掘ツテモ構ハヌト云フ風ニシタナラバ、腹ノ減ル人ハ一人モナイノデアリマス、今頃カララシ、諸ヲ掘ツテ自由ニ賣ルノデアリマス、供出ダケハ責任ヲ以テ果スノデアリマス、此ノ方法ヲナセ探ラヌカト申スノデアリマス、一毛作ノ所デモ、農民ノ努力ニ依レバ二毛作ハ完全ニ出來マス、香川縣ノ一毛作田デ二毛作ヲスルノハ容易イコトデアリマス、十月ノ終リニ麥ノ苗ヲ育テ置イテ、二月ニ入シテ乾イテカラ整理シテ植エルノデアリマス、サウシタナラバ二毛作モ二石五斗デモ獲レルノデアリマス、出來タナラバ、農民ノ

努力ヲ度外視シテ作況調査ニ依ツテ供出ヲ強ヒラレルノデアリマスカラ作ラヌノデアリマス、完全ニ麥ガ出來ル畑デ以テ麥ヲ作ツテ居ナイ、是レヲ當局ハ御存ジナイデアリマセウカ、香川縣ニ於テ、九段ノ二毛作出ヲ作ツテ居ル百姓ガ六段シカ麥ヲ播イテ居ラス、ナゼカト云フト、全部麥ヲ播イタナラバ、肥料ガ少イ時ニ九段全部供出ヲ強ヒラレカ、六段麥ヲ播イテ置ク方ガ非常ニ利益デアアル、斯ウ云フ考ヘヲ起シテ居ルノデアリマス、是ハ一香川縣ノ例デナク、全國到處斯様ナ實例ヲ私ハ見ルノデアリマス、カルガ故ニ供出ハ土地ニ等級別ヲ付ケマシテ責任額ヲ出シ、責任額ヲ果シタナラバ、アト殘ツタモノハ農民ノ自由ニサスガ宜イ、私ハ此ノ意見ヲ持ツノデアリマス、過日自由黨ノ意見ノ中ニ、斯ウ云フ意見ヲ農林大臣ニ話シタ時ニ、農林大臣ハ、自由ニシタナラバ其ノ自由ノ高イ米ハ誰ガ買ツテ食フノカ、貧乏人ハ食ヘヌデハナイカ、斯様ナコトヲ言ハレタト云フコトヲ私ハ新聞デ拜見シタノデアリマスガ、是ハ抑々大キナ考慮ヒデナカラウカト私ハ思フノデアリマス、農民ニ自由ニサセルト申シマシテモ、農民ニ關賣サセルト云フノデアリナイ、私モ水田二町歩ト畑七段餘作ツテ居ル一百姓ニ過ギヌガ、責任額ヲ果シタ供出ノ殘リハ農民ニ自由ニサスト云フハ、農民ガ之ヲ確保シテ、農民ノ手デ自由ニ、實行組合ノ手ヲ經テ農民食堂ヲ作ツテ賣ラシテ呉レ、斯ウ云フ要求ヲスルノデアリマス、サウシタナラバ農民ノ生産意欲ハ高マリマシテ、幾ラデモ増産出來ルノデアリマス、過日モ委員會ニ於テ、青森縣ノ農民ガ、食フモノガナクナツテ農業倉庫ヲ製ツテ米

俵ヲ擔ギ出シタ、又一方ノ縣デハ、農民ガ必要物資ト交換シテ居ル、斯様ナコトヲ話サレタメ、全部農民ガ食フ物ガナクサレタ、農業倉庫ヲ襲フヤウナ農民バカリニ食ツタナラバ、ドウ云フ結果ニナルカ、寧ろ生産ニ勵ムデ、今頃必需品ヲ交換スルダケノ餘裕ノ米ヲ持ツテ居ル農民コソ、私ハ精農家ナリト叫ブモノデアリマス、今頃農民ガ山稼ギニ參リマスナラバ、一日四十圓乃至五十圓ノ日常ヲ得ルコトガ出來ルノデアリマス、此ノ山稼ギナスルニハ、一升飯ヲ食ハナケレバ一日ノ勞働ニ從事スルコトガ出來ナイノデアリマス、此ノ米ヲ買ツテ食フ者ガ山稼ギノ米トシタラ、民家ノ米ヲ買ツテ食フノデアリマシタナラバ、香川縣デモ五十圓デハ一升ノ米ハ手ニ入ラスサウデアリマス、働イテ食フダケガ出來ルノデアリマス、カルガ故ニ是等ノ人々ハ、山稼ギヲスルヨリ納屋ノ隅デ蠶細工デモスル、草履ヲ作ツテ居ルヤウナ狀態デアリマス、斯ウ云フ狀況ヲ農林大臣ハ御存ジナイデアリマセウカ、農民ニウント増産サセルニハ、ドウシテモ生産意欲ヲ高メル以外ニ途ハナイノデアリマス、供出ハ責任ヲ決メテ、今ノ三百圓デモ六百圓デモ宜シイ、責任額ヲ果シタナラバ、農民ガ農業會食堂ヲ設ケテ、此處デ調デモ米デモ、米ガ餘ツタナラバ酒ヲ作ツテモ宜イト云フ風ニ自由ヲ認メテヤル、小麥ヲ作ツタラ、供出シテ殘ツタ粉ニシテ、饅頭ニシテ醬油ヲ掛ケテ賣ツテモ宜シイ、コ、マデシタナラバ腹ガ減ル者ハ一人モナクナル、全部ノ國民ガ腹ガ膨レル、米ハ天候ニ依ツテ支配サレル關係デ、幾ラデモ増産出來ルト云フ譯ニハ行キマセウガ、麥ト芋類ハ農民ノ努

力ニ依ツテ肥培管理宜シキヲ得マスレバ、今ノ三倍ノ増産ガ出來ルコトヲ、私ハ農民ノ立場カラ保證スルノデアリマス、此ノ點カラサハ、供出割當ヲ土地ノ等級別ニシテ、サウシテ責任額ヲ果シタナラバ、アトハ農民ガ加工シテ自由ニ賣レルヤウナ制度ヲ設ケテ戴キタイ、餘リニモ取締ル爲ニ農民ガ必需品ヲ交換ヘルノデアリマス、私ハ分リ易イ一例ヲ申上ゲマス、二馬力ノ電動機ト變壓器ヲ米ト交換シタ農民ガアリマス、是ガ防犯課ノ手ニ依ツテ取調ベタ結果、分ツタノデアリマスガ、米六俵ト交換シテ居タノデアリマス、交換シタ所ノ「ブローカー」ハ其ノ米ヲ、昨年デアリマスガ一俵千八百圓、香川縣ノ闇値ノ最高價格デ賣ツテ居タノデアリマス、斯ウ云フヤウナコトニナリマス、其ノ「ブローカー」ガ又闇商人ニ賣ル、闇商人ガソレヲ飯ニ炊イテ、茶碗ニ一杯十五圓デ賣ツテ居ルノハ事實デアリマス、其ノ十五圓ノ白米ノ飯ヲ賣ツテ居ル横デ、餓死者ガバタノ、斃レテ居ル、之ヲ當局ガオ氣付ニナラヌデアリマセウカ、農民ニ供出錢リノ米ヲ自由ニ加工シテ食堂デ以テ賣ルセハノデアリマシタナラバ、何ヲ苦シンデ朝茶一杯ノ飯ヲ十五圓デ賣ルデアリマセウカ、五十錢デモ喜ンデ賣ルノデアリマス、一貫匁ノ諸ガ闇ニ五十圓、三十圓デ流レテ居ルト聞クノデアリマス、農民ニ自由ニ供出ノ錢リヲ賣ラスノデアリマシタナラバ、今ノヤウナ話デ一食一圓位ナラバ賣ル、此ノ政策ヲナセ執ラスノデアリマスガ、此ノ點ヲ御尋ネ致シマス

○石川政府委員 此ノ食糧ノ安定ヲ期スル爲ニ、生産農家ノ生産意欲ヲ向上シナケレバナラヌト云フ御意見ニ對シテハ、我々モ全クサウダト思ヒマス、隨ヒマシテ、色々ナ施策ニ付キマシテハ當ニソコニ十分ニ注意シテ居ルノデアリマスガ、今述ベラレマシタヤウナ責任制ノ問題モ一ツノ方法ト思ヒマス、唯之ニ付キマシテハ、確カ一昨年ダト思ヒマスガ、事前割當式ノ考ヘヲ以テ、丁度今ノ責任制ノヤウナ考ヘヲ以テヤツタノデアリマスガ、其ノ問題ニ付キマシテハ非常ニ結果ガ良クナカッタノデアリマス、ト申シマスノハ、ヤハリ斯ウ云フヤウナ問題ハ、末端マデ浸透シマシテ、各生産農家モ悉ク分ツテ、理解シテ戴ケレバ宜イノデアリマスガ、平野サンノ御郷里ニ於ケルヤウニ非常ニ理解ガ深ケレバ宜イト思ヒマスガ、東北方面、北陸方面ノ米作一本ノ地帯ニ於ケマシテハ、ドウシテモ天候ノ影響ガ非常ニ大キイノデアリマスノデ、責任制ヲ布イテモ其ノ通り行カナイト云フ事情ガゴザイマス、其ノ關係カラ、一昨年は是ト似タヤウナ「アイデア」ヲ以テヤツタノデアリマスガ、ドウシテモ皆ク行カナイト云フノデ、現在ノ供出ニ展ツタノデアリマハ、色々從來ノ弊害モゴザイマスノデ、本年度ニ於ケマシテハ、度々委員會デ申上ゲテ居リマスヤウニ、又降リ式ノ割當デハイケンイ、隨テハ地方ノ耕作農民ヲ主體トシマシタ所謂供出委員會ヲ設ケテ、ソコデ供出委員會ガ更ニ又部落ノ委員會ヲ設ケテ、部落ノ生産農家ト納得ヅクメデ食糧ヲ出シテ賣フ、斯ウ云フ方法ニ變ヘテ行クコトニ依リマシテ、從來ノ弊害ヲ除去シテ行カウト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、併シナガラ只今申サレマシタ方法ニ付キマシテハ、私等モ非常ニ考

ヘサセラレル點ガゴザイマスノデ、此ノ點ニ付キマシテハ食糧當局ニ能ク申上ゲマシテ、研究致シタイト思ツテ居リマス

○平野(市)委員 天候ニ依ツテ左右サレルノデ、昨年モヤツタケレドモ東北方面デハ失敗ニ終ツタ、是ハ各縣ニ於テ趣ヲ非常ニ異ニスルト思ヒマスカラ、已ムヲ得マセウガ、香川縣邊リハ全部ノ農民ノ要求デアリマスカラ、出來ル縣カラ徐々ニヤツテ行ツテ、香川縣ガ模範ヲ示シ、次ハ岡山縣ニ移ツテ行クコトガ安全デアリマス、良イコトハ率先シテヤラスベキダト思フノデアリマス、サウ致シマス、何時マデモ今ノヤウナコトデハ同ジコトヲ繰返スノミデアリマシテ、自主的供出ニ今度改訂サレ、委員會ヲ設ケテヤルト申シマスガ、此ノ委員會タルヤ、私共ニ言ハスナラバ狸ト狐ノ騙シ合ヒデアリマス、大キキ農業會ト云フ狐ガ政府ヲ騙シ農民ヲ騙シテ居ル、其ノ一例ヲ思シマス、政府カラ我々農民ニ割當ラレタ供出ハ、政府カラ割當テ管理米ヲ供出シタソレデ宜シイノデアリマスガ、其ノ管理米ノ供出ニ、農業會又ハ末端ノ町村農業會ニ至ルマデ、是ハ狸デ狐ノ子分デアリマスガ、是等ガ管理米ノ割當ニ當ツテ、職權ヲ濫用シテ公文書ヲ偽造シテ、地主ノ保有量ヲ盛込シテ農民ニ押付ケテ來ルノデアリマス、何モ知ラナイ農民ハ、全村通ジテ一石シカ出來ナイ所ニ一石三斗ノ割當ガ來ルノデアリマスカラ、ドウシテモ供出出來ナイ、仕方ナク我々ノ農民組合ニ頼ツテ來ル私達ガ其ノ村ヘ參リマシテ能ク調ベタ所ガ、職權ヲ濫用シテ、公文書ヲ偽造シテ、地主ノ保有量ヲ盛込シテ取ル爲ニ、何時マデ經ツテモ百パー

セント」ノ供出ハ出來ヌノデアリマス、之ヲ縣當局ニ交渉致シマシテ、一旦取下ゲテ、改メテ管理米ダケ供出シタナラバ、直チニ供出ガ終ルノデアリマス、私ガ言ツタヤウナ責任制ヲ持タト云フコトハ、何モ分ラヌ狐ヤ狸ガ、農林省ニ參リマシテツベコベ言フ爲ニ、又サウ云フモノヲ濫用スル爲ニ正シイ供出割當ガ何時マデモ行ハレヌト思フノデアリマス、香川縣ニ於テ農業會、村役場ガ、其ノ職權ヲ濫用シテ公文書ヲ偽造シ、農民組合ヲ騙シテ、農業會長ヲ初メ村長ガ職權シテ居ル村ハ枚舉ニ違ガナイノデアリマス、調べタナラバ全部不正ヲヤツテ居リマス、是ハ何時マデモ今ノヤウナ甘キ供出制度ニ醉ハントスル一ツノ策動デアリマス、此ノ策動ニ何時マデモ農林省ガ乗ツテ居ルヤウナコトガアツタナラバ、國民ハ餓死スルノデアリマス、甚ダシイ農業會ハ、割當ノ上ニ筆ノ先デ胡麻化シテ、小サイ村ニ於テデモ四十石或ハ五十石ト云フ餘分ノ供出ヲ取ツテ、縣當局ノ者ノ賄ヒニ當テテ見タリ、闇デ賣ツタリシテ居ル農業會ガ澤山アルノデアリマス、斯ウ云フコトヲ考ヘマスナラバ、一日モ早ク責任制ヲ持タシタ供出割當ニシテ、農民ノ生産意欲ヲ昂メルヤウニ是非御願ヒ申シタイトデアリマス

供出制度ハソレ位ニ御願ヒシマシテ、次ニ私ハ強權發動ニ付テ御願ヒ申シタイトデアリマス、強權發動ハ今ノ場合已ムヲ得ナイコト存ジマス、是ハ私達全農者ハ甘シテ受ケマスガ、何時マデモ米價ガ今ノヤウナコトデハ行カナイト思ヒマス、米價ハ恰モ海ノ波ノ如ク、上リ下リガアルコトハ昔カ

ラ今日マデ續いて居ルコトデアリマシテ、已ムヲ得ヌト思ヒマスガ、此ノ米價ノ下落シタ場合ニ、米價ノ高イ時ニ農民が出シ溢リヨスル時ニ、強權發動ヲ以テ取上ゲルガ、一朝米が安クナツタ場合ハドウスルカ、此ノ點當局ハドウ云フ風ニ御考ヘニナツテ居ルノデアリマスガ、私達農民ハ決シテ米價が一石千圓、今頃農業者ハ千五百圓ヲ叫ンデ居リマスガ、千五百圓モ要求ハ致シマセヌ、三百圓デ宜シイ、寧ロ二百圓デモ宜シイ、我が國ノ經濟ハ米價が基準デアッタノデアリマス、米價ヲ基準トシタ價格デアリマスナラバ、何ヲ好ンデ百姓が米ノ値上リヲ喜ブデアリマセウカ、米が少シ上ツテ他ノ物が百倍以上上ツテ居ルコト申サナカッタノデアリマスガ、農機具ハ戰前ニ比較致シマスカラ百倍ノ値上リデアリマス、我々ノ使用スル唐鍬一挺ガ、一圓二十錢ノモノガ現在デハ百二十圓デアリマス、牛具ガ一挺公定價デ百八十圓デアリマスガ、現在ノ公定價格デ百八十圓デアリマスガ、農民ノ手ニハ四百圓デナケレバ手ニ入ラヌ、表面ハ公定デアリマスガ、裏面カラ何カ食フモノヲ持ツテ行カケレバ農家ノ手ニ入ラヌ、斯ウ云フヤウナ狀態ニナツテ居ルノデアリマス、カルガ故ニ米價が高クナルコトハ農民トシテハ餘リ好マシクナイノデアリマス、寧ロ諸物價が下ルナラバ、米價ヲ安クシテ戴ク方が農民ニ取ツテハ非常ニ好マシイノデアリマス、サリト時代ノ波ニハ打瀧ツコトハ出來マセヌノデ、最近米價が上ルサウデ

アリマスガ、米價が既ニ上ツテ、他ノモノガソレニ比例シテ上ルコト云フヤウナコトデアッタナラバ、農民ハヤツテ行ケナイ、若シ米價が下ツタ場合ニ、米が自由販賣ニナツテ外國ノモノガドンノ入ツテ來ル、農産物ノ買手ガナイヤウニナツタ場合ニ、當局ハ農家ヲドウ云フ風ニ救済スルカ、此ノ救済方法ニ付テ今カラ準備ヲ整ヘテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ私ハ承リタイノデアリマス、ドウシテモ之ヲ今カラ防グ必要ガアルト思ヒマス、ソレニハ農村ノ電化ノ必要ヲ私ハ強調スルモノデアリマス、私ハ昭和二年以來農村電化ヲ叫ンデ、香川縣ニ於テ農村電化ノ先驅者トシテヤツテ來タノデアリマスガ、現在デハ炊事場ニ至ルマデ電熱器ヲ利用致シマシテ、農家ノ風呂モ飯モ全部電化シテヤツテ居ルノデアリマス、是ハドウシテモ、今カラ其ノ準備當局ガナサレ必要ガアルト思ヒマス、米價が下ツテ、農民ノ何トカ救済シテ呉レト云フヤウナ要求ノ聲ヲ聞イテカラ、農村電化ヲヤラウカト云フヤウデハモウ遅イノデアリマス、私達昭和三年頃農村電化ヲ實施致シマシタ當時ニ、政府ガ農村電化ニ目覺メテ、農村ノ方面ニ電力ヲ用ヒテ居ツタナラバ、戰爭中モモウ少シ擴張ルコトガ出來タカト思フノデアリマス、私ガ昭和三年ニ灌溉用ニ初メテ電動機ヲ取付ケタ時ニハ、米國製ノ中古品デ、一馬力ノ「モーター」ガ僅カ七十圓デアリタノデアリマス、電線モ幾ラモ來ル時デアリマス、サウ云フ時ニ中央ノ政治家ハ都會ニ車キヲ置イテ、都會ニ仁丹ノ看板ニシラント電氣ヲ付ケテ、農村ヲ眞摯ニシラントデアリマス、アノ當時農村ニ電氣ヲ引込ンデ、農村電化ヲヤツ

テ居ツタナラバ、今日ノヤウナ餓死者ハ出ナカッタト思ヒマス、ドウシテモ強權發動ヲ今ヤラレル反面ニ、米價が下ツタ時ニ、生産費ノ輕減ヲ圖ル爲ニ農村電化ノ必要ガアルト叫ベモノデアリマス、ソレニハ農林中央金庫ノ金ヲ農民ニ貸付ケル用意ガアルカドウカ、又農産物ガ極度ニ下落致シマシテ、農民ノ首ガ廻ラナクナツタ時ニ、農林中央金庫ノ金ヲ無擔保、無利子デ貸ス御用意ガアリヤ否ヤ、此ノ點ヲ御伺ヒ致シマス

○山添政府委員 將來海外ノ農産物トノ競争關係ニ日本農業ガ置カレル場合ノ狀況ノ變化、其ノ時ニ即スル爲ニ今カラ準備シテ置ク必要ガアルト云フ御説ハ、全く私共ノ通りニ考ヘテ居リマス、サウ云フ場合ニ對處致シマス爲ニ、根本的對策ト致シマシテハ、仰セノヤウニ農業ノ生産力ヲ高メマシテ、競争能力ヲ強クスル、是ガ根本對策デアリマス、同時ニ又價格對策ト致シマシテモ、食糧管理法等ノ運用ニ依リマシテ、急激ナル變化ヲ來サナイヤウニ、飽テマデモ生産費ヲ維持スルト云フ建前デ參ルベキモノト考ヘテ居リマス、農業ニ於ケル生産性ヲ高メマス方法ト致シマシテハ、勿論根本的ニナリマスト農地制度ノ問題ト云フヤウナコトモアリ、斯ウ云フコトモ此ノ議會ニ提出ニナル譯デアリマスガ、農業ノ機械化トカ、或ハ電化トカ、又經營内容ノ多角化等、多方面ニ互リマシテナリ今例ニ舉ゲラレマシタ電化問題、是モ極小規模デゴザイマスガ、今年ノ豫算ニモ取入レテ居ルノデゴザイマス、總額ニ致シマシテ三十六萬圓バカリ、極ク僅カナ金額デゴザイマスクレド

モ、斯ウ云フ方面ニ著目ヲシテヤツテ參リタイト存ジテ居リマス

○平野(市)委員 其ノ點ヲ重ネテ御尋ネ致シタイノデアリマスクレドモ、時間ノ關係上省キマス、農民ハ米ノ上ガルコトヲ餘リ好マヌノデアリマス、サリト時代ナラバ致シ方ガナイノデアリマシテ、農民モ食ハズニ働ケナイノデアリマス、最近米價ノ問題ガ決マル譯デアリマスカラ、僞リナキ事實ヲ參考マデニ申上ゲマス、米一石ノ價格ハ幾ラニスルノガ正シイカト申シマシタナラバ、幾ラガ正シイト云フモノハ恐ラクナカラウト思ヒマス、政府ハ六百圓ニスル、或ハ七百五十圓ニシヨウト云フ聲ヲ聞キマス、各縣ノ農業會長ハ千二、三百圓、是モ何カラ割出シテ居ルノカ我々ニハ分ラヌノデアリマス、私ハ米價ハ幾ラニセヨト申サヌノデアリマス、農民ガ次ノ生産——再生産ガ出來ル價格ニセヨト云フコトヲ私ハ要求致シタイノデアリマス、昔カラ米一反作ル農民ノ手間ハ約四十五人掛カルノデアリマス、ソレヲ現在ノ労働賃銀ニ換算ヲシテ戴キタイノデアリマス、今頃労働組合ハ一日八時間制ヲ叫ンデ居リマスガ、農民ガ一日八時間労働タノデアツタナラバ、日本ノ農業ハ滅亡デアリマス、忙ガジイ時ニハ四六二十四時間働イテ居ルノデアリマス、サウシテ四十五人掛ツテ居ルノデアリマス、ソレニ最近ハ幾ラカ機械化サレマシテ、約十人減ジマシテモ約三十五人ハ掛カルノデアリマス、本年ノ米ヲ作ル費用ニ要シタ實際ノ點ヲ參考マデニ申上ゲマスガ、荒地ヲ使ツテ代ヲ攝イテ田植ヲスルマデノ整地費二百五十圓要ツテ居リマス、田植費ガ一反歩八十圓、此ノ八十圓タルヤ半分ハ金、半分

ハ食フ物ヲ出サナカッタナラバ仕事ヲシテ呉レナイ、先ツ田植ニ要スル準備デアリマスガ、苗代ノ準備ヲ致シマシテ整地マデ二百五十圓、田植費ガ八十圓デアリマス、今ノ價格デアツタナラバ一石ハモウ幾ンデシマツテ居リマス、ソレダケデハ米ハ出來マセヌ、ソレニ肥料ヲ施シテ草ヲ取ツテ、出來上ツタナラバ刈取ツテ、扱イテ、俵ニ入レテ供出スルマデノ手間賃ヲ計算シテ下サツタナラバ、幾ラガ正シイカト云フコトヲ、私ハ參考マデニ申上ゲテ置キマス

次ニ私ハ日本ハドウシテモ有畜農業デヤツテ行カケレバ、農業ハ立ツテ行カスト云フコトヲ秘ミ、感ズルモノデアリマス、本年ハ萬人口ヲ開ケバ製作デアル、製作デアルト云フヤウナコトヲ言ハレテ居リマスガ、私達百姓ノ立場カラ本年ヲ考ヘテ見マスナラバ、決シテ製作デハナイ、天候ハ製作型デアリマスガ、收穫ハ決シテ製作デナイ、今後天候ガ順調ニ參リマシテモ平年作デアリマス、何故ナラバ、自由經濟當時カラ戰爭ニ移ツテ今日ニ至ルマデニ地方ガ衰ヘテシマツテ居リマス、所謂土地ガ養養失調ニ掛ツテ居リマス、此ノ地方ノ増進ヲ圖ラズシテハ、ドウシテモ増産ハ出來ヌノデアリマス、地方ノ増進ヲ圖ルノハドウシテモ有畜農業デアリマス、有畜農業ナクシテ地方ノ増進ハ圖レヌノデアリマス、最近化學肥料ノ要求ヲ感シニ申シテ居リマス、假ニ化學肥料ガ農民ニ澤山手ニ入ルヤウニナツテ、硫酸ニ依ツテ農作物ヲ作ラウト致シマスナラバ、一年ヤ二年ハ出來マスクレドモ、益々地方ガ衰ヘテ、三年五年後ニハ恢復出來ナイヤウニナツテ來ルノデアリマ

ス、ドウシテモ地方ノ増進ヲ圖ラナケ
レバナラヌ、此ノ地方ノ増進ヲ圖ルノ
ハ有畜農業ニ依ツヨリ外ナイノデアリ
マスガ、今マデノ政府ノヤリ方ハ、何
等方針モナケレバ計畫モナイ、無方
針、無計畫デアリマス、サウシテ我ガ
國ノ政策ノ主流ヲナスモノハ、農民ヲ
生カサズ殺サズノ政策ヲ取ツテ來タ
川時代ト更ニ變ラナイノデアリマス、
之ヲ根本カラ民主的ニ改メズシテ、何
時マデモ生カサズ殺サズノ政策ヲ續
タナラバ、地方ハ段々ト衰へ、減産ニ
ナル一方デアリマス、此ノ有畜農業タ
ルヤ何等ノ計畫ガ立ツテ居ラヌノデア
リマス、中央ニ其ノ計畫ガナク爲ニ、
地方ニ至ルマデ無方針、無計畫デアリ
マス、私香川縣ノ一例ヲ申上ゲマス
ガ、香川縣ハ明治四十年ニ中央カラ長
谷川技師ト云フ乳牛専門ノ技師ガ來ラ
レマシテ、三箇年間乳牛ヲ非常ニ獎勵
シタルデアリマス、ソレガ爲ニ香川縣
ハ關西一ノ乳牛王國トナツタノデアリ
マスガ、其ノ技師ガ退リ、長官ガ退ッ
タラ乳牛ノ方針ガ變ツタ、次ニ來ラレ
タ技師ハ改良和牛専門デ、乳牛ノ改良
モ行ハナカツタ、其ノ次ニヤツテ來タ
技師ハ鮮牛専門ノ技師ガヤツテ來ル、
何ガ何ヤラ一定シテ居ナイノデアリマ
ス、私ハ此ノ有畜農業ヲ計畫的ニ獎勵
シナケレバナラヌト思フノデアリマ
ス、ソレニハドウシテモ三反歩以上作
ツテ居ル農家ニハ、少クトモ牛馬一頭
ト豚ノ一頭ヲ飼フ、是ハ是非計畫的ニ
ヤラサナケレバナラナイト思ヒマス、
之ニモ生産意欲ヲ高メテヤラナケレバ
ナラナイノデアリマス、軍隊ガアツタ
當時ニハ、斯ウ云フ要求ハシテモ叶ハ
ナイコトデアリマスガ、最早軍隊ハナ
クナツタノデスカラ構ヒマセヌ、牛ヲ

飼ヒ、馬ヲ飼フ農民ニ皮ヲ還元スル、
此ノ方針ヲ執ツテ、有畜農業ノ生産意
欲ヲ高メル方針ヲ立テ戴キタイノデ
アリマス、牛ヲ飼ウタ者ハ、最後ハ其
ノ牛ヲ屠殺スルノデアリマス、馬モ屠
殺スルノデアリマスガ、此ノ牛ヲ飼ツ
タ者ニ、最後ニハ必ズ皮ヲ賣費デ農民
ノ手ニ還元サレルヤウナ政策ヲ執ツテ
戴キタイノデアリマス、ソレニハ中央
金庫ノ金ヲ需要家ニ利用致サセマシ
テ、四國デアリマシタナラバ、四國四
縣ニ一箇所デ宜シイ、皮ヲ輕ス工場ヲ
國家ガ設ケマシテ、賣費デ四國四縣ノ
皮ヲ輕シテ、牛ヲ飼ウタ所ヘ皮ヲ返シ
テヤル、斯ウ云フ政策ヲ執リマスナラ
バ、三反歩以上作ツテ居ル農民ハ進
ンデ牛馬ヲ飼育スルノデアリマス、牛一
頭、馬一頭飼育スルナラバ、五反歩ノ
自給肥料ハ出來ル、是サヘアレバ他ニ
何モ肥料ハ要ラナイノデアリマス、其
ノ上豚一頭ヲ飼育サス、豚ノ一頭位
ハ、農家ノ自家用ノ厨芥デ以テ飼育ガ出
來ルノデアリマス、米ヤ麥ノ白水ヲ飲
マシテデモ、五箇年間掛ツテモ十箇年
掛ツテモ、肥料ヲ生産スル機械トシテ
飼ハス、斯ウ云フ方針ヲ立テヤツタ
ナラバ、豚一頭デ三反歩ノ自給肥料ガ
出來ルノデアリマス、牛一頭、馬一頭
飼ツテ居ツタナラバ、何等化學肥料ニ
頼ルコトナクシテ地方ノ増進ガ出來ル
ノデアリマスガ、此ノ方針ガ何等政府
ノ方デ立ツテ居ナイト云フコトヲ私達
ハ遺憾ニ思フノデアリマス、宜シク牛
馬ヲ飼育スル者ハ、政府ガ賣費デ以
テ、皮ヲ輕シテ農民ニ還元シテヤルト
云フヤウナ政策ヲ立テル必必要アルト
思フノデアリマスガ、政府ハ斯ウ云フ
點ニ付テド云フヤウニ御考、ニナッ
テ居ルカ、御尋ね致シマス

○山添政府委員 畜産ノ重要ナコトハ
申スマデモゴザイマセヌ、農業ノ理想
ト致シマシテハ、地方ヲ保持シツ、生
産性ヲ擧ゲテ行クト云フ所ニアルノデ
アリマス、其ノ爲ニハ仰セノヤウニ有
畜農業ニ依ツコトガ根本デアリマス、
ト同時ニ農家ノ勞働力ヲ萬遍ナク利用
シマスル關係カラモ、又今後ノ國際貿
易ノ上ニ、相當程度或ハ酪農ヲ組入レ
テ行クト云フコトモ考フベキコトデア
リマシテ、私共ト致シマシテモ、只今
御述べニナリマシタヤウナ方法ニ、農
業經營ヲ導キタイト云フ風ニハ考ヘテ
居ルノデアリマス、併シナガラ只今ノ
狀況ト致シマシテハ、何分戰爭ガ終リ
マシテ、マダ國內經濟モ漸ク回復ノ緒
ニ就カ就カケイカト云フ時デアリマ
シテ、色シナ條件ガ只今滿サレテ居リ
マセヌ關係上、大キナ畜産計畫ヲ立テ
ルト云フ風ナ時期ニハマダ立至ツテ居
ラナイノデアリマス、趣旨ト致シマシ
テハ、御述べニナリマシタ方向ニ進ミ
タイト考ヘテ居リマス、而シテ畜産ヲ
致シマシタ農家ニ皮ヲ還元スルト云フ
コトハ、是ハ確カニ有效ナル着想ト考
ヘマス、協同組合等ノ仕事トシテ、サ
ウ云フ方向ニ着目シテ行クト云フコト
ハ、是ハ十分考慮シテ見ルベキ問題デ
ト思ヒマス

○平野(市)委員 當局ノ畜産計畫ニ付
テ、酪農ヲヤラシテ居ルト申シマス
ガ、今マデノ酪農ハ森永「ミルク」デア
ルトカ、或ハ明治「ミルク」デアルト
カ、斯ウ云フヤウナ資本家ノ爲ニ乳牛
ヲ飼育シテ居ツタ者ガ犧牲ニナツテ居
ツタノデアリマス、皆彼等ハ細張ヲ持
ツテ居リマス、何處其處ト何處其處ト
森永「ミルク」ノ細張デアルト云フ、細
張爭ヒヲスル爲ニ、官廳方面ノ人ハ森
永「ミルク」トカ明治「ミルク」ト云フヤ
ウナ方面ノ方ト懸念ナ人ガアルト云フ
コトヲ見受ケマス、今後我々農家ニ酪
農ヲ獎勵シ、乳牛ヲ獎勵スルノデアリ
マシタナラバ、明治「ミルク」トカ或ハ
森永「ミルク」ト云フヤウナモノヲ應援
スルノデハ、ドウシテモ農家ノ酪農事
業ハ發展セヌノデアリマス、一體農業
經營ノ上ニモ、又一國ヲ治メテ行ク上
ニ於キマシテモ、天ノ惠ミ、地ノ惠ミ
ニ從フ、此ノ理念ヲ離レテハ何モ成立
タヌノデアリマシテ、將來ノ我ガ國
ハ、ドウシテモ見返物賣ヲ持ツテ行カ
ナカツタナラバ外國ノ物ヲ取入レルコ
トハ出來ヌノデアリマス、ソコデ私ハ
酪農經營ニ付テ考ヘテ居リマス一端ヲ
申上ゲマシテ、政府ノ御考慮ヲ煩ハシ
タイノデアリマス、御承知ノ通り、今
日ノ日本ガ戰爭ノ爲ニ失ツタ所ノ南方
デアリマス、此ノ南方ハ「ゴム」ヤ石油
ヤ砂糖ニハ惠マレテ居リマスガ、南方
ノ住民ノ最も好ムモノニ惠マレテ居ラ
ヌノデアリマス、南方ノ最も好ムモノ
ハ練乳「ミルク」デアリマス、サリ
トテ南方ニ於テ乳牛一頭ヲ飼育スルコ
トモ出來ヌノデアリマス、之ヲ我ガ國
ノ天ノ惠ミ地ノ利ニ致スナラバ、日本ノ
國ハ北海道カラ九州ノ涯、四國ノ島々
ニ至ルマデ、幾ラデモ乳牛ノ飼育ハ出
來ルノデアリマス、全國ノ農民ニ乳牛
ノ飼育ヲ獎勵スル上ニ於テ、一番ニ飼
料ノ問題ノ解決ヲ付ケナカツタナラ
バ、如何ニ政府ガ畜産ニ重キヲ置イテ
居ルト申シマシテモ、有畜農業ハ發展
セヌノデアリマス、是モ其ノ縣ノ「ニ
依ツテ起キテ異ニ致シマスガ、香川縣
ノ有畜農業ガ發展シマシタノハ、四國
農業ノ發展ニ連レテ有畜農業ガ發展シ
テ來タノデアリマス、米麥農業ニ連レ

テ發展シテ來タノデアリマス、ソレガ
現在ニ二分擔、玄米食ニナツタ爲ニ糠ガ
ナイノデアリマス、同ジ四國四縣ニ於
キマシテモ、高知、徳島、愛媛ノ如キ
縣ハ天然資源ニ恵マレ、山林原野ナト
ガアルノデアリマス、然ルニ香川縣ノ
如キ、又他ニモ澤山アルト思フノデ
アリマスガ、香川縣ノ如キ天然資源ニ
恵マレテ居ナイ方面ニハ、耕地ノ一割
ヲ供出ノ對象トシナイ牛馬ノ飼料ヲ作
ラスト云フ方針ニ持ツテ行カナカツタ
ナラバ、如何ニ當局ガ有畜農業ヲ獎勵
シ力ヲ入レマシテモ、實際ニ於テ飼料
ノ關係デ行詰ルデアリマス、外國ノ
飼料ハ今ノ所仰ゴコトハ出來ヌノデア
リマス、耕地ノ一割ヲ割イテ飼料ヲ作
ラスト云フ御計畫アリヤ否ヤ、此ノ點
ヲ御尋ね致シタイノデアリマス、サウ
致シマセヌト有畜農業ハ發展致サヌ
デアリマス

(松岡委員長代理退席、坂本委員長
代理著席)

○山添政府委員 御話ノヤウニ、有畜
農業ト申シマシテモ結局飼料ノ問題ニ
歸着スル譯デゴザイマスガ、如何ニシ
テ我ガ國テ飼料ヲ作ルカ、之ニハ今御
話ニナリマシタヤウニ、耕地ノ一部ヲ
割イテ飼料ヲ作ルト申シマスガ、サウ
云フコトニ段々向フノチヤナイカ、此
ノ事ニ付キマシテハ、マダハツキリ申
上ゲル段階ニハ參ツテ居リマセツケレ
ドモ、目下研究ヲ致シテ居ルノデゴザ
イマス、米ヲ作り棄テニ麥ヲ作ル、此
ノ一點張リデ行キマシテハ、地方ヲ保
持シ土地ノ生産力ヲ零ゲルト云フコト
ニ付キマシテ、ソコニ尙ホ研究ノ餘地
ガアルノデアリマシテ、數年間ノ一回
ノ裏作ヲ主要作物ニ向ケテ行ク、斯ウ
云フヤウナ小サイ規模ニ於ケル輪作デ

ゴザイマスガ、サウ云フヤウナコトヲ
取入レテ参リマスコトガ今ノ畜産モ入
リ、又土地自身ノ生産力ヲ保持シ昂揚
スルニ相宜ノニ宜イノデヤナイカ、
斯ウ云フヤウナ著想ヲ以テマシテ研究
ハ致シテ居リマスガ、マダ斯ウスルト
云フ所マデハ到達シテ居リマセヌ

○平野(市)委員 其ノ點私色々考ヘテ
居ルコトモアルノデアリマスガ、時間
ガアリマセヌカラ、又何レカノ機會ニ
申上ゲマス

次ハ爾ノ値上ニ付テ御當局ニ御尋ネ
致シタイノデアリマスガ、終戦後蠶
絲ガ食糧輸入ノ最大ナル見返物資ト
ナリ、今後貿易ガ開カレマスルナラ
バ、輸出品ノ重要ナル地位ヲ占メ、
又將來農村工業ヲ思フ時ニ、此ノ際
ノ値上ハドウシテモ思ヒ切ツテヤラ
ナケレバナラヌト思フノデアリマス、現
在養蠶家ハ一反歩ニ於テ大體千圓カ
二百圓位シカ利益ヲ擧ゲテ居ラヌノ
デアリマス、桑カヲ蠶ヲ飼ツテ繭ニシ
テ、一反歩千圓ヤ千二百圓ノ利益デア
リマシタナラバ、果シテ是ガ利益ト
言ヘルカドウカ、桑ノ葉ヲ栽培スル肥料
代ニモ足ラヌノデアリマス、政府ハ今
回繭ノ値上ト云フコトヲ準備サレテ居
ルサウデアリマスガ、ドウ位値上ヲサ
レルノデアリマスガ、將來ノ生絲貿易
其ノ他ノ農村工業ニ對スル獎勵ノ點ヲ
考ヘマスル時、思ヒ切ツタ値上ヲセ
ナケレバ、如何ニ獎勵ヲ致シマシテ
モ、正反對ニ養蠶家ハ減ジシマシ
テ、桑ハ寧ろ掘返シテ他ノ食糧作物ヲ
作ルト云フ風ニナリハシナイカ、斯
ニ私ハ慮ヲ懷クモノデアリマスガ、
ノ程度繭ノ値上ヲナサルノデアリマ
スカ

○山添政府委員 私モ實ハ先般マデ蠶
絲局ノ方ニ關係致シテ居リマシテ、今

後ノ情勢ニ應ジマシテ如何ニ蠶絲ヲ擴
充——ト申スヨリモ、實ハ維持スルカ
ト云フコトニ關心致シテ居タノデア
リマス、何ト申シマシテモ、繭ノ値段
ハ米トカ其ノ他ノ農産物ト比較シマシ
テ、從來ノ約合觀念ヨリモ、上ニアル
ト云フコトデナケレバナラヌト考ヘテ
居リマス、其ノ趣旨ヲ以テマシテ、政
府ニ於キマシテモ目下審議ヲ致シテ居
リマスガ、明言致スマデニハ達シテ居
リマセヌ

○平野(市)委員 時間ガアリマセヌカ
ラ、最後ニ一點ダケ御尋ネ致シマス、
私達農民ニ取ツテ重大ナ問題ハ、何ト
申シマシテモ農地問題ト肥料問題デア
リマス、土地問題ハ比較的民主的ニ進
展シ、アリマスガ、肥料問題ニ關シ
マシテハドウシテモ民主的ニナツテ居
ナイ、肥料國家管理法著々進シ
居ルヤウデアリマシテ、最近議會ニモ
提出サレルト思ヒマスガ、其ノ内容ハ
必ズシモ民主的デナイコトヲ遺憾ニ思
フノデアリマス、即チ要綱ノ第八ニ明
記シテアルヤウデアリマスガ、政府ノ
肥料買入或ハ賣渡ハ日本肥料株式會社
ニヤラスト云フコトニナツテ居リマス
ガ、是ハ完全ニ、此ノ農村ノ必需資材
ノ肥料ヲ官僚統制ニ置カントスル一ツ
ノ現ハレデハナカラウカト思フノデア
リマス、肥料ハ全國農業會ニ當ラスノ
ガ當然カト思フノデアリマス、然ラ申
シマスナラバ、私ハ此ノ肥料ノ運營ハ
日本農民組合ニヤラシ、サウシテ各府
縣ノ支部聯合會ニ當ラスノガ最モ民主
的デアルト思フノデアリマスガ、一足
飛ビニソコマデハ參ラヌト思ヒマス
ガ、此ノ日本肥料株式會社ニヤラスヨ
リモ、今ノ所私ハ全國農業會ヲ以テ之
ニ當ラスノガ最モ民主的デハナカラウ

カト思フノデアリマス、政府ハ此ノ點
ヤハリ日本肥料ニヤラスノデアリマ
スカ

○山添政府委員 只今御指摘ニナリマ
シタ點ニ付キマシテハ、日本肥料ニ差
當リ事務ヲ扱ハセルト云フ意味デアリ
マシテ、ズツト其ノ形態デ行クト云フ
ヤウニハ必ズシモ考ヘテ居ラナイ譯デ
アリマス、日本肥料其ノモノニ付キマ
シテハ、アノ會社ハ將來製造ノ方面ニ
進ンデ参リ、而シテ配給ノ面ニ付キマ
シテハ新シイ構想デ考ヘテ行キタイ、
斯ウ云フヤウニ思ツテ居リマス

○平野(市)委員 モウ宜シウゴザイ
マス

○坂本委員代理 小坂君
○小坂委員 昨去七月十一日ノ本
會議ニ於キマシテ、本法案ガ上程セラ
レマシタ機會ニ質問ヲ致シマシタ、質
問ノ要點ハ三ツアリマシテ、第一ハ、
此ノ農林中央金庫ノ金ハ零細ナル農山
漁村ノ預金ノ集積アル、之ヲ旨ク運
用スルコトハ農村ノ民主化ノ爲ニ望マ
シノデスケレドモ、一步誤ルト、折
角ノ此ノ預金ノ集積ヲ、産業資本ノ犧
牲ニ供シテシマフ處ガアルト云フコト
ヲ申シタノデアリマス、其ノ意味ハ、
此ノ預金ガ今回開闢シマス、市中
銀行、所謂市中ノ五大銀行、興業銀
行、勸業銀行ト一諸ニ、農林中央金庫
ガ「シンデケート」團ヲ組織スル、サウ
シテ肥料會社ノ機構擴充ノ資金ヲ賄ツ
テ行カヌ、殊ニソノ中農林中央金庫ノ
受持ツ分野ガ九三%、殆ト大部分デア
ルト云フコトヲ聞キマシテ、是ハ今ノ
肥料會社、或ハ肥料工業ト云フモノニ
對スル根本的ナ檢討ヲシタ後ニ許サル
ベキモノデハナイカ、又其ノ金ガ假ニ
長期ニ、此處ニアリマヌヤウニ「十箇

年以内ノ定期償還貸付又ハ年賦償還貸
付ヲ爲スコトヲ得」斯ウ云ツタ意味ノ
長期ニ運用セラレルコトニ付テハ、餘
程檢討ヲ要スルノデハナイカ、斯ウ云
フ點ヲ指摘致シマシテ、サウシテ實ハ
私ハ此ノ法案ヲ讀ンデ見マスルト、斯
ウ云ツタ方面ニ、殊ニ肥料會社ニ對シ
テ農林中央金庫ノ金ヲ運用スルト云フ
規定ハナイ、斯ウ見マシタノデ、是ハ
如何ナル法の根據ニ依ツテ運用セラレ
ルノデアアルカト云フコトヲ質問致シマ
シタノガ第一點デアリマス、第二點
ハ、今申上ゲタヤウナ關係カラ、農林
中央金庫ガ本來ノ使命カラ逸脱致シマ
シテ、金融資本ノ持ツ役割ヲスル、斯
ウ云フコトガ考ヘラレル、此ノ點ニ對
シテノ御見解、第三點ハ、今肥料ガ非
常ニ必要デアル、何トシテモ凡ニル智
能ヲ傾ケ、凡ニル機構ヲ整備シテ、肥
料増産一本ニ力ヲ結集シテ行カナケレ
バナラナイノダ、然ルニ今ノ肥料工業
ニ對スル監督行政ガ非常ニ多元的ナモ
ニナツテ居ル、殊ニ生産行政ニ付テ
ダケハ、少クトモ一元化ヲ要スルト思
ハル、ニ拘ラズ、農林省、商工省ノ間
ニ二元化サレテ居ル、此ノ點ニ付テ何
トカ一ツ御處置ヲ願ツタ方宜イノデ
ハナイカ、斯ウ云フコトニ付テ御質問
致シタ譯デアリマス、其ノ質問ニ對ス
ル御答ヘニ付テ、私ハ後程委員會デ
又御質問スルト申シテ置キマシタカ
ラ、先ヅ其ノ順ヲ逐ツテ御質問ヲ致シ
マス

第一ノ運用ニ付テデスガ、此ノ法の
根據ハ、第十五條ノ運用デアルト云フ
コトヲ農林大臣ハ御答ヘニナツタノデ
アリマス、此ノ法案ヲ拜見シマスル
ト、第十五條ノ「二」業務上ノ餘裕金ヲ
以テ同項第四號又ハ第五號ノ法人ニ對

シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ十箇年以内ノ
定期償還貸付又ハ年賦償還貸付ヲ爲ス
コトヲ得」斯ウ書イテアリマスカラ、
恐ラクテ之ヲ仰シヤツタララウト思ヒ
マスケレドモ、第四號ニハ「全國農業
經濟會、道府縣農業會、市町村農業
會、森林組合聯合會、森林組合、産業
組合聯合會、産業組合又ハ水産業團體
ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法
人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸
付ヲ爲スコト」斯ウ書イテアリマシ
テ、第五號ニハ「食糧營團其ノ他農林
水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ對シ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲ス
コト」斯ウ書イテアルノデアリマス、
是カヲ見マスルト、肥料工業ト云フモ
ノハドウ云フ點デ此處ニ含まレルヤウ
ニ解釋セラレルカ、此ノ點ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイ

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
此ノ第十五條ノ第五號「食糧營團其ノ
他農林水産業ニ關スル事業ヲ營ム法
人」此ノ農林水産業ニ關スル事業ヲ營
ムモノト云フ點ニ對シマシテハ、我々
ハ相當廣ク解釋シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ貸借問題ハ單ナル法理論ノ問
題デアリマスガ、現實ノ問題ト致シマ
シテ、今肥料工業ハ早急ニ復舊シナケ
レバナラナイ、然ルニ是ハ資材ノ問題
モゴザイマスガ、更ニ多ク資金ノ問題
ガ之ニ含まツテ居ル、而シテ現實ノ具
體的ナ問題ト致シマシテ、現在終戦後
ノ非常ニ拮据デ資金ガ極マツテ出ナイ、
併シ肥料ハ農村ノ重要ナル一ツノモノ
デアリマスカラ、中央金庫ノ餘裕金ヲ
以テ、借リナケレバナラヌト云フ具體
的ナ問題カラ、今回ノ改正ガ生ジタノ
デアリマスガ、根據トシマシテハ第五
號ヲ取ツテ居リマス

シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲
スコトヲ得」斯ウ書イテアリマスカラ、
恐ラクテ之ヲ仰シヤツタララウト思ヒ
マスケレドモ、第四號ニハ「全國農業
經濟會、道府縣農業會、市町村農業
會、森林組合聯合會、森林組合、産業
組合聯合會、産業組合又ハ水産業團體
ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法
人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸
付ヲ爲スコト」斯ウ書イテアリマシ
テ、第五號ニハ「食糧營團其ノ他農林
水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ對シ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲ス
コト」斯ウ書イテアルノデアリマス、
是カヲ見マスルト、肥料工業ト云フモ
ノハドウ云フ點デ此處ニ含まレルヤウ
ニ解釋セラレルカ、此ノ點ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイ

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
此ノ第十五條ノ第五號「食糧營團其ノ
他農林水産業ニ關スル事業ヲ營ム法
人」此ノ農林水産業ニ關スル事業ヲ營
ムモノト云フ點ニ對シマシテハ、我々
ハ相當廣ク解釋シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ貸借問題ハ單ナル法理論ノ問
題デアリマスガ、現實ノ問題ト致シマ
シテ、今肥料工業ハ早急ニ復舊シナケ
レバナラナイ、然ルニ是ハ資材ノ問題
モゴザイマスガ、更ニ多ク資金ノ問題
ガ之ニ含まツテ居ル、而シテ現實ノ具
體的ナ問題ト致シマシテ、現在終戦後
ノ非常ニ拮据デ資金ガ極マツテ出ナイ、
併シ肥料ハ農村ノ重要ナル一ツノモノ
デアリマスカラ、中央金庫ノ餘裕金ヲ
以テ、借リナケレバナラヌト云フ具體
的ナ問題カラ、今回ノ改正ガ生ジタノ
デアリマスガ、根據トシマシテハ第五
號ヲ取ツテ居リマス

シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲
スコトヲ得」斯ウ書イテアリマスカラ、
恐ラクテ之ヲ仰シヤツタララウト思ヒ
マスケレドモ、第四號ニハ「全國農業
經濟會、道府縣農業會、市町村農業
會、森林組合聯合會、森林組合、産業
組合聯合會、産業組合又ハ水産業團體
ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法
人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸
付ヲ爲スコト」斯ウ書イテアリマシ
テ、第五號ニハ「食糧營團其ノ他農林
水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ對シ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲ス
コト」斯ウ書イテアルノデアリマス、
是カヲ見マスルト、肥料工業ト云フモ
ノハドウ云フ點デ此處ニ含まレルヤウ
ニ解釋セラレルカ、此ノ點ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイ

○石川政府委員 御答ヘ申上ゲマス、
此ノ第十五條ノ第五號「食糧營團其ノ
他農林水産業ニ關スル事業ヲ營ム法
人」此ノ農林水産業ニ關スル事業ヲ營
ムモノト云フ點ニ對シマシテハ、我々
ハ相當廣ク解釋シテ居ルノデアリマ
ス、殊ニ貸借問題ハ單ナル法理論ノ問
題デアリマスガ、現實ノ問題ト致シマ
シテ、今肥料工業ハ早急ニ復舊シナケ
レバナラナイ、然ルニ是ハ資材ノ問題
モゴザイマスガ、更ニ多ク資金ノ問題
ガ之ニ含まツテ居ル、而シテ現實ノ具
體的ナ問題ト致シマシテ、現在終戦後
ノ非常ニ拮据デ資金ガ極マツテ出ナイ、
併シ肥料ハ農村ノ重要ナル一ツノモノ
デアリマスカラ、中央金庫ノ餘裕金ヲ
以テ、借リナケレバナラヌト云フ具體
的ナ問題カラ、今回ノ改正ガ生ジタノ
デアリマスガ、根據トシマシテハ第五
號ヲ取ツテ居リマス

シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲
スコトヲ得」斯ウ書イテアリマスカラ、
恐ラクテ之ヲ仰シヤツタララウト思ヒ
マスケレドモ、第四號ニハ「全國農業
經濟會、道府縣農業會、市町村農業
會、森林組合聯合會、森林組合、産業
組合聯合會、産業組合又ハ水産業團體
ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法
人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸
付ヲ爲スコト」斯ウ書イテアリマシ
テ、第五號ニハ「食糧營團其ノ他農林
水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ對シ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲ス
コト」斯ウ書イテアルノデアリマス、
是カヲ見マスルト、肥料工業ト云フモ
ノハドウ云フ點デ此處ニ含まレルヤウ
ニ解釋セラレルカ、此ノ點ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイ

シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲
スコトヲ得」斯ウ書イテアリマスカラ、
恐ラクテ之ヲ仰シヤツタララウト思ヒ
マスケレドモ、第四號ニハ「全國農業
經濟會、道府縣農業會、市町村農業
會、森林組合聯合會、森林組合、産業
組合聯合會、産業組合又ハ水産業團體
ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法
人ニ對シ主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸
付ヲ爲スコト」斯ウ書イテアリマシ
テ、第五號ニハ「食糧營團其ノ他農林
水産業ニ關スル事業ヲ營ム法人ニ對シ
主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲ス
コト」斯ウ書イテアルノデアリマス、
是カヲ見マスルト、肥料工業ト云フモ
ノハドウ云フ點デ此處ニ含まレルヤウ
ニ解釋セラレルカ、此ノ點ニ付テ御説
明ヲ願ヒタイ

○小坂委員 第五號ハ只今ノ御答辯デ了承致シマスガ、私ノ希望トシマシテハ、斯ウ云フ後デ多少問題ヲ含ムノデハナイカト思ハル、コトニ付テハ、明確ニ第五號モ御變ヘニナツテ、第五號ニ肥料工業ト云フコトヲ御明記ニナル方ガ宜イノデハナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマスガ、明確ニ之ヲ御書キニナル御意思ガアルカドウカ伺ヒタイ

○石川政府委員 此ノ中央金庫ノ改正法ニ付キマシテハ、既ニ御承知ノコトト思ヒマスガ、全般的ニ相當ニハ改正シナケレバナラヌ所ガゴザイマス、殊ニ最近ノ經濟變動ニ伴ヒマシテ、更ニ其ノ必要ガ増加シタ譯デアリマスガ、今回ノ臨時議會ハ會期モ短イコトデゴザイマスノデ、差當リ緊急ノ途ヲ開イテ置クト云フ程度ノ改正ヲ致シタノデアリマス、隨ヒマシテ、只今御質問ノ點ニ付キマシテハ、全體改正ノ場合ニ十分ニ考究シタイト考ヘテ居リマス

○小坂委員 第一點ハ了承致シマシタ、第二點デゴザイマスガ、農林中央金庫ガ金融資本ト同ジ役割ヲシテ居ルデヤナイカト云フ點デアリマス、是ハ實ハ私モ委員會ニ臨ムマデハ多少疑問ヲ持ツテ居リマシタレドモ、昨日ノ總務局長ノ御答辯中ニ、飽クマデ緊キ資金デヤツテ行ク方針デアル、短期ノ急場ヲ凌グ爲デアル、斯ウ云フ御意見ガゴザイマシタガ、其ノ通り了承致シマシテ、此ノ農林中央金庫ノ肥料工業ニ對スル質問ハ、只今仰セヨウニ、非常ニ資金ガ潤滑シテ市中ニ資金ガナイ爲ニ、此ノ場合ノ短期ノ緊キ資金トシテ運営スルノデ、斯ウ云フヤウニ解釋シテ置キタイ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○石川政府委員 左様ニ御諒承願ソテ結構ダト思ヒマス

○小坂委員 サウシマスルト、緊キ資金ヲ借りルト云フコトニナルノデアリマシテ、肥料工業ハ要スルニ永續性ヲ持ツタ工業デアリマシテ、差當リハ甚ダ資金ニ困ル、又現狀ニ於テハ一日モ早く一掃リノ肥料モ多クト云フコトデ、一般ノ熱望ガ肥料ト云フモノニ結集シテ居リマスカラ、コ、デ多少ノコトハ問題ニナラナカラウト思ヒマスガ、此ノ肥料工業ト云フモノハ、曾テ昭和四年頃ハ確實ノ「ダンピング」ヲ受ケテ慘憺タルモノデアリマシタ、將來關稅障壁ヲ失フタ日本ガ、イツ又此ノ狀態ヲ繰返サナイトモ限ラナイノデアリマス、サウ云フコトガ現出シタ場合ニ、緊キ資金デ貸シテ置イテ、此ノ借金ノ跡始末ハドウ云フ風ニナサル積リデアルカ、其ノ點御伺ヒ致シマス

○山添政府委員 只今ノ問題ハ、肥料工業ノ前途ニ非常ニ關係ノアル問題デアリマスカラ、肥料ノ増産ト云フコトニ付テ責任ヲ持ツテ居リマス私カラ、一言御答ヘラシテ置キタイ點ガゴザイマス、私ノ方ノ考ヘト致シマシテハ、將來外國カラ輸入ガ入ルト云フ場合モ無論アラウト考ヘテ居リマスシ、寧ろ現狀カラ考ヘマスト、所要量ノ生産ガ達成致シマスルマデハ輸入シナケレバナラヌ狀態ガアル譯デアリマス、併シナガラ食糧ノ國內ニ於テ自給度ヲ高メルト云フコトハ、ドウシテモヤツテ行カナケレバナラヌ事柄ノヤウニ思ヒマス、ソレニ關聯致シマシテ、肥料ノ點ニ於キマシテモ出來得ル限リ國內デ自給スルヤウナ態勢ニ持ツテ行キタイ、同時ニ又サウ云フコトヲ致ス以上ハ、價格政策其ノ他ノ一關稅ト云フコトハ別問題デ、寧ろ肥料ニ付テハ米ト並ンデ、相應應シタ統制ヲヤツテ行ク爲

ニ、輸出入等モ一定ノ計畫ニ基イテ、所謂自由貿易ト云フ形デナクヤツテ行クト云フヤウニ考ヘテ居リマス、隨テ又海外ニ於ケル肥料ノ價格ト、國內ニ於ケル價格ニ付キマシテモ、輸出入ノ關係ハ、或ル機構ヲ通シテ「ブール」スルト云フ恰好ニシテ、飽クマデモ國內デ相當ノ自給ヲスル、又自給ヲスル必要ガ價格政策ヲ左右シテ行ク、斯フ云フヤウニ考ヘテ居リマス、是ハ將來ニ屬スルコトデゴザイマスケレドモ、只今御心配ニナリマスヤウナコトハ實ハ全然豫定シテ居ラナイシ、又サウデハナイヤウニシテ行キタイ考ヘテ居リマス

○小坂委員 只今ノ御答辯デゴザイマスガ、勿論萬金ノ施策ヲ御執リニナルノハ當然デアリマスガ、一旦サウ云フコトガアツタ場合ニ、資金ノ出テ來ル元ガ非常ニ苦シイ、過去ノ農村恐慌時代ニ於ケル血ノ出ルヤウナ農民ノ預金モ、此ノ中央金庫ノ中ニ含マレテ居リマスノデ、只今見ルト二百二億圓ニモ上ツテ居ル龐大ナモノデアル、又有價證券モ百十億カラノ龐大ナモノヲ持ツテ居ル、ソコデ非常ニ大キナ金ノヤウデアリマスガ、三千五百萬農民ノ非常ニ大切ナ金デアリマス、若シサウ云フコトガアツタ場合ニ、是等ノ人ニ迷惑ヲ掛ケナイヤウナ措置ヲ執ラレテ置クト云フコトガ必要デヤナイカ、斯ウ考ヘル、ソコデ今後非常ニ危險ナ事業、今日日本ガ急遽ニ復興シテ行ク爲ニ色々ナ危險ヲ冒サナケレバイケナイ、殊ニ資本主義ノ體制ノ下ニ於テ、資本主義的ナ考ヘ方カラシテハ極メテ危險デアルト思フ金融上ノ貸付モ致サナケレバナラヌ仕事ニ對シテハ、復興金庫ヲ作ラナケレバナラヌ、是ハ當初ハ資本金

二億圓ト云フ御話デアリマシテ、極メテ少イノデ驚イテ居ツタノデアリマスガ、最近百億ト云フコトデアアル、肥料工業ヘノ融資ハコチカラノ方ガマア私共考ヘマスト妥當デアル、一番宜イ、將來危險ナシトセム仕事ノ本質ニ加ヘ、殊ニ現在復興擴張工事ヲシテ居リマス連中ノヤリ方ヲ見テミマス、私共ガ見マシテモ可ナリ中ニ無茶ヲシテ居ル所モナイデナイヤウニ見エル、斯ウ云フモノニ復興資金ヲ貸付ケテヤルノニ、此ノ農林中央金庫ノ金ヲ出スト云フコトハ、少シ考慮、又ハ檢討ヲ要スル點ガアルノデハナイカ、此ノヤウニ考ヘルノデスガ、現在差當リ非常ニ肥料資金ガ必要デアアル、ダカン貸スノデアル、是ハ緊キデアアル、斯ウ云フ御答辯デアルト、其ノヤウニ了承致シマシテ、ソレデ出來ルダケ復興金庫ノ全面的ニ御活用ヲ願ヒタイ、斯様ニ希望ヲ致ス譯デアリマス、此ノ點ハ此ノ位ニ致シマシテ、質問ノ第三點デアリマスルガ、肥料行政ガ、殊ニ生産行政ガ二元化サレテ居ル、此ノコトハ官制ノ上カラ見マスト、肥料工業ト云フモノハ生産數量ノ決定ヲ除イタ凡ル生産行政ノ商工大臣ガ持ツト云フ風ニ書イテアル、所ガ法令ノ上カラ見マスト、重要肥料業統制法、或ハ確實ノ増産配給統制法、サウ云フモノノ主務大臣ガ農林大臣ニナツテ居ラレル、ソコデ此ノ官制ノ上ト法令ノ上トノ食糧ヒガ出テ來ル、ト申シマスコトハ、法令上ヲ主務大臣ガ農林大臣デアラレマスカラ、此ノ製造業者ノ組合、又ハ其ノ組合ヲ通ジテ製造業者自身ト云フモノニ對シテノ監督ノ主務大臣ハ農林大臣デアラレマス、ソレ等ノ法令ノ中ニハ組合ノ擴張限度ヲ決マルコトヤ、又組合

ニ對スル人事權ト云フモノモ含マレテ居ル、ソコデ勢ヒ此ノ生産行政ガ二元化サレテシマフト云フコトガ實ヘルダラウト思ヒマス、ソレデ私ノ御伺ヒシタイコトハ、兩省ノ間ニ屢々此ノ問題ニ付テ御話ガ進ンデ居ラレルト云フヤウニ新聞ナドデ伺ツテ居ルノデアリマスガ、何レニシテモ此ノ際ハ、下チラカハツキリシタ責任ヲ執ルヤウニシテ戴イテ、此ノ國ヲ復興スルノニハ責任ノ所在ヲ明確ニスルコトガ根本デアアル、勿論業者ニシテモ、生産「サボ」ヲヤツタ業者ナドニ付テハ十分嚴罰ヲ加ヘテ、サウシテ責任ヲ果サシメルト云フコトガ當然必要デアラウト思ヒマスルガ、監督官廳ニモモチカラカニハツキリト責任ヲ持ツテ貰フ、斯ウ云フ一般ノ聲ガ非常ニ強イヤウニ了承致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ニ付テ兩省ノ政府委員ガ御見エニナツテ居リマスカラ、御伺ヒシタイト思ヒマス

○山添政府委員 所謂肥料行政ノ一元化ノ問題ニ付キマシテハ其ノ側ニ當ツテ居リマス我々自身モ、痛切ニ其ノ必要ヲ感ジテ居リマス、隨テ一方ノ省ニ之ヲ明確ニ致シマスルカ、或ハ第三ノ統合シタ形ニ依ツテ明確ニ致シマスルカ、何レニシマシテモ目下研究ヲ致シテ居リマスケレドモ、速急ニ御願ヒスルコトヲ實ハ希望致シテ居リマス

○鈴木(重)政府委員 今農政局長ノ御話ノゴザイマシタ通り、今日ソ肥料問題ガ食糧ト關聯致シマシテ急速ニ増産ヲ執ラネバナラナイコトハ當然デアリマシテ、其ノ側面カラ生産行政ニ關スル責任ヲ持ツタ強力ナ行政ヲ致サナケレバナラヌコト、御説ノ通りダト存ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ、從來ノ經緯モゴザイマスカラ、農林當局ト

シマシテ二十一年度百五十六萬八千「トン」、二十二年度百六十五萬「トン」、二十三年度百七十萬五千「トン」、二十四年度百七十七萬七千「トン」、二十五年年度百七十七萬二千「トン」、加里肥料ト致シマシテその肥料五〇%ニ換算致シテ二十一年度二十六萬七千「トン」、二十二年度二十七萬九千「トン」、二十三年度二十八萬七千「トン」、二十四年度二十九萬八千「トン」、二十五年年度三十萬五千「トン」、斯ウ云フ數字デアリマス、此ノ數字ハ勿論希望數ニテデアノワトモヘテ居ツタノデアリマスガ、其ノ後色々伺ヒマス、是ハ二、三十五年度ニ窒素肥料ノ場合デ言ヒマス、ト二百二十七萬「トン」造ルノタ、斯ウ云フ製造方面ノ責任數ニテアルヤウナ般カノ國內ノ食糧自給態勢ヲ確立スル上ニ、是ダケノ肥料ヲ欲シト云フ御希望、數目ノヤウニ初メ考ヘテ居ツタノデアリマスガ、生産目標デアルト云フヤウニ感ジニ因ハレテ來テ居リマス、一、尙ハ其ノヤウニ解シテ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、所ガ内地ノ硫安或ハ石灰窒素等ノ肥料生産設備ノ現状及ビ將來ヲ見マスル、此ノ點マデ達スルノハ非常ニ困難デハナイカト思ハレルノデアリマス、現ニ比較的諸條件ガ緩ヤカナ面デ見マシテモ、百四十五萬「トン」ト云フノガ窒素肥料ノ全體ノ成績ノ最高點デアリマス、硫安ノ最高ヲ取り、石灰窒素ノ最高ヲ取り、兩者ヲ加ヘテ百四十五萬「トン」ニシカカラナイ、ソコデ二百二十七萬「トン」カラ百四十五萬「トン」ヲ引キマス、八十萬「トン」カラ開キガ出テ來ル、敗戦後ノ日本デアリマスカラ、此ノ開キノ八十萬「トン」ヲ生産シマスルノニ相

當ナ困難が伴フ、是ハ餘程ノ餘裕デモナケレバ出來ナイ數字デハナイカト考ヘテ居リマスガ、當局ノ御考ヘヲ伺ヒタイト思ヒマス

○鈴木(重)政府委員 只今御述ベニナリマシタ數點ハ、先程農政局長ノ御答辯ニモアリマシタヤウニ、出來得ル限リ自給度ヲ高メテ行ク意味ニ於キマシテ、ヤハリ自給目標ノ數字デゴザイマス、即チ生産目標トシテソレヲ達成スルヤウニ努力ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯御承知ノ通り、今御述ベノゴザイマシタ通り、從來ノ國內ニ於ケル生産能力ハ、戰災其ノ他ノ影響モゴザイマシテ、戰前ニ於ケル最高能力モ今御話ノ通り百四、五十萬トシテデアリマシテ、殊ニソレガ戰災ノ被害ニ依リマシテ相當低下ヲ致シテ居リマスカラ、ソレダケノモノヲ完全ニ自給スルト云フコトニ付キマシテハ、相當ノ困難が伴フコトハ當然デゴザイマス、殊ニニコ一兩年ノ間ニ於キマシテハ、資材或ハ資金等ノ關係モゴザイマシテ、直チニソレダケノ生産能力ニ達成スルコトハ相當困難デアリマシテ、差當リ我々ノ生産目標トシテ、能力ノ整備、復興計畫ノ對象トシテ居リマスモノハ、昭和十三年ニ百萬トシテノ實產ヲ舉ゲルコトヲ目標ニ目下努力中ナノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテモ、既存工場ノ修理復興ダケハ固ヨリ不十分ダト存ジマシテ、戰爭中ニ色々出來マシタ例(ハ)アルミニウムノ關係ノ施設、或ハ電力關係ノ施設デアルトカ、或ハ「メタノール」ノ關係ノ施設、サウ云ツタヤウナ工場ノ轉換モ計畫シマシテ、差當リ二百三十萬トシテノ實產ノ計畫ヲ進メテ居ルノデアリマス、唯此ノ問題ニ付キマシテハ、先般聯合國軍方面ノ指

令モゴザイマシテ、今直チニ當初ノ計畫通り全面的ニ遂行スルニハ、關係方面ノ諒解ヲ得ラレナイ問題モゴザイマシテ、差當リハ既存工場ト、關係方面ノ承認ヲ得マシタ工場ニ全力ヲ集中致シマシテ、其ノ工場ノ修理復興ヲ一日モ早クヤル、而シテ其ノ結果尙ホ日本ノ肥料ノ需給狀況カラ見テ不足スルト云フヤウナ場合ニ於テハ、聯合國軍方面デモ十分考慮スルト云フコトヲ言明サレテ居リマスノデ、物ノ順序ト致シマシテハ、當面ノ問題ハ既存工場ト關係方面ノ承認ヲ得マシタ工場ニ全力ヲ

結果致シマシテ、其ノ修理復興ヲ終ヘマシタ當時ノ能力ヲ更ニ檢討シ、需給上相當ノ不足ヲ見マスル場合ニハ、改メテ關係方面ノ承認ヲ得マシテ、轉換工場ノ整備ヲ急ギタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○小坂委員 大體實現可能ナ目標ヲ提ヘテ、ソレニ向ツテ邁進サレルト云フコトガ一番必要ダト思ヒマス、ソレニ付キマシテモ鋼材デアリマス、今マデ鋼材ガ肥料工業ニ對シテ比較的能ク廻ツテ來タト云フコトハ、非常ニ當局ノ御努力ヲ多シテ居ルモノデアリマスカ、是ガ大體戰時中ノ「ストック」デアルト云フコトニ御著目願ヒタイノデアリマス、ソレデ今後ノ鋼材ノ生産ガドノ位ニナルノカ、肥料ニ對シテノ鋼材ガドノ位剩當テラレノカト云フコトヲ一ツ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○鈴木(重)政府委員 現在ノ計畫ト致シマシテ、既存工場ト關係方面ノ承認ヲ得マシタ工場ノ修理復興ニハ、大部分ハヤハリ戰爭中、其ノ後ノ所謂在庫デゴザイマシテ、最近ニ於キマスル鐵鋼ノ生産事情カラ申シマスルト、今後ノ

新シイ工場ノ建設ニ大益ノモノヲ期待スルト云フコトハ、可ナリ困難デゴザイマス、唯當面ノ修理計畫ノ決定シテ居ルモノニ付キマシテハ、此ノ僅カナ國內生産デハアリマスケレドモ、聯合軍ノ指令モアリ、之ニ凡ニ力ヲ結集シテ、一日モ早ク肥料ノ増産確保ヲ圖ル、斯ウ云フ趣意ニ基キマシテ、國內ノ僅カナガラノモノヲ、之ニ全面的ニ集中配當ヲ致シテ居リマス、尙ホ今後鐵鋼ノ見透シカラ言ヒマス、是ハ單ニ肥料ノ問題ダケデハゴザイマセヌ

デ、其ノ他肥料ニ必要ナ工事ガ多クゴザイマス、之ニ付キマシテハ、ヤハリ聯合軍方面ニ懇請ヲ致シマシテ、鐵鋼、鋼材其ノモノノ輸入モ今折衝中デゴザイマスルシ、又物ニ依ツテハ既ニ諒解ヲ得テ手續ノ進シテ居ルモノモゴザイマスガ、今後ノ肥料工業ノ重要性ニ鑑ミマシテ、國內ノ自給出來ナイ方面ニ付キマシテハ、ヤハリ關係方面ノ援助ヲ得タイ、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○小坂委員 尙ホ今後取得ヲ要スル鋼材ガ、業者ノ言ツテ來ルコトガ正シイストルナラバ四萬五千トシテ「要ルト云フコトニ、窒素肥料ダケデモナツテ居リマス、國內生産ガ極メテ貧弱ナ狀態ニアリマス數字ハ、承知シテ居リマスガ、是ハ餘程ノ努力ガナイト出來ナイナラバ、必ズ之ヲ實行スルト云フ強イ方針ヲ樹立シテ實ヒタイ、此ノコトヲ期待シテ居リマス、尙ホ鋼材ノ關聯シテデアリマスガ、石炭事情ガ非常ニ惡イ、是ハ申スマデモナイコトデアリマス、石炭ハ直接生産ニモ關係シマスカ、同時ニ復興資材トシテノ「セメン」ノ生産ニ不可缺ナモノデアリマ

ス、「セメント」ノ取得ト云フコトガ今甚ダ巧行ツテ居ナイ、此ノ點ニ付テモ十分努力サレナケレバ復興ハ出來ナイト思ヒマス、話ガ長クナリサウデスカラ、成ダケ端折ツテ申上ゲマスガ、此ノ石炭關係カラ「コークス」ノ生産ガ非常ニ落チテ來テ居ル、殊ニ今日ノ新開見マス、八幡製鐵所モ賠償指定ヲ受ケテ居ル、斯ウナツテ參リマス「コークス」ノ生産ト云フモノハ月産下ノ位見込デアリマスカ、其ノ點ニ付テ御伺ヒ致シマス

○鈴木(重)政府委員 肥料用ノ原料トシテノ石炭「コークス」ノ問題デアリマスカ、現在ノ所、今御話ノヤウニ、製鐵關係或ハ「ガス」工場等ニ於ケル「コークス」ノ生産狀況ハ、一般石炭需給逼迫ノ折柄非常ニ減退ヲ致シテ居リマス、併シナガラ今後ノ石炭ノ増産ノ見透シモ付イテ參ツテ居リマスルシ、極ク最近ニ於キマスル九州地方ノ生産モ好轉ヲシテ參ツテ居リマスノデ、今後は等ノ石炭ノ増産ニ伴ヒマシテ、製鐵工場或ハ「ガス」工場等ニハ相當ノ配當ガ出來ルト思ツテ居リマス、唯八幡工場ノ今回ノ賠償指定ニ依リマシテ、今後ドレダケ減ルカト云フコトニナリマス、實ハマデ正確ナ數字ヲ持ツテ居リマセヌデ檢討ヲ致シタイト存ジマスガ、又八幡ダケデナクシテ、ヤハリ「ガス」工場方面デモ相當出ル譯デアリマス、又御承知ノヤウニ、ソレハ「ノ工場ニ「コークス」爐ヲ裝備シテ持ツテ居リマスガ、其ノ方面ノ餘力モ現在ノ所マデ澤山アル譯デアリマスカラ、是等ノ肥料關係ノ「コークス」確保ノ爲ニハ、色々方面ノ「コークス」爐ヲ動員スルナラバ、決シテ今ノ所サウ不足マスルヤウナ狀況デハゴザイマセヌ、問題

ハ寧ロ原料炭ノ問題デゴザイマシテ、ソレモ石炭ノ増産ニ期待ヲ掛ケテ居ルヤウナ次第デアリマス

○小坂委員 肥料用「コークス」ハ、需要量トシテ一、四半期ニ二十萬トシカラ豫定シテ居ルヤウデアリマスガ、特別ノ御助力ヲ願ヒタイト思ヒマス、申スマデモナイコトデスカ、八幡製鐵所並ニ廣畑、輪西、釜石、皆其ノ製鐵所ガ賠償ノ對象ニナツテ居リマス、主タル「コークス」ノ供給源ハ申スマデモナク製鐵所デアリマス、此ノ點ニ付テモ、聯合軍當局ナドニ對シテ特段ノ御交渉ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ尙ホ内地ノ原料炭問題ノ一助トシマシテ、石灰窒素肥料ナドノ生産ニアリマシテハ、佛領「インド」支那ノ「ホンデー」炭、「ドントリウ」炭ヲ輸入スルト云フコトガ、非常ニ大キナ役割ヲスルノデアリマス、私共實際ニ聞イテ見マス、大體四割ハ默ツテ居テモ生産ガ殖エテ來ル、非常ニ優秀ナ原料炭デアリマス、此ノ佛印炭ノ輸入ニ付テドシナヤウナ御見透シヲ持ツテ居ラレカ、御伺ヒ致シマス

○石川政府委員 佛印炭ノ輸入問題ニ付キマシテハ、目下關係方面ニ御願ヒシテ、打合せ中デゴザイマス、現在ノ所マデ色々連絡其ノ他ガ不十分ナ關係モゴザイマシテ、今直チニ期待ハ一寸困難カト存ジマスガ、關係方面ニ非常ニ厚意ヲ持チマシテ、現地方面ニ御連絡願ツテ居ルヤウナ狀況デゴザイマス

○小坂委員 只今ノ御答辯デ了致シマス、一ツ折角ノ御努力ヲ願ヒマス、此ノ問題ハ此ノ位ニ致シマシテ、次ニ中央金庫ノ問題デアリマス、資金貸付先ヲ拜見致シマス、統制會社ニ對

フ氣ガ致スノデアリマス
〔坂本委員長代理退席、馬越委員
長代理著席〕
ソレニ付ケテモ、大キナ金ノ要ル牛
トカ云フモノヲイキナリ考ヘルヨリ
モ、ドノ家庭モ必ズ山羊ヲ飼フヤウニ
スル、都市ノ我々ニシマシテモ、山羊
ナラバ何處行ツテモ安ク手ニ入ル、サ
ウシテ周リノ草原デモ、焼跡ノ草原デ
モ飼ツテ行ケルノダ、斯ウ云フヤウナ
風ニシテ行クコトガ、先ヅ身近カラ我
我ノ生活ヲ改善スル上カラ必要デヤナ
イカト思ヒマスガ、山羊ヲ増進スルコ
トニ付テ特別ナ御考ヘガアリマスカ、
御伺に致シマス
○山添政府委員 今後日本ノ農業が大
キケナル希望ハ、非常ニ少イコトハ確
カデゴザイマスガ、零細ニアルコト云
フコトハ、サウ云フ見透シモ持ツテ居リ
マセスシ、又サウ云フ制度ノナイヤウ
ニ致シテ行クヤウ制度のニモ考ヘテ參
リタイト思ヒマスガ、是ハ別ト致シマ
シテ、御話ノヤウニ山羊ハ兎モ角飼料
ガ要ライノデ、斯ウ云フモノヲ取入
レテ參リマスコトハ、極メテ適切ナ取
トダト考ヘテ居リマス、隨テ是ハ方々
ノ人モ言ハレ、又農林省ト致シマシテ
モ、特別ノ手段ト云フヨリモ、サウ云
フコトヲ獎メルト云フヤウナ形デ進メ
テ居ルノデゴザイマス、斯ウ云フ一般
的ニ廣ク獎メタイト云フヤウナモノニ
付キマシテハ、ヤハリ今後ハ補助金ト
云フヤウナコトモ段々困難デゴザイマ
スシ、廣ク獎メルト云フ形デ參ル、必
要ガアレバ良イ種畜等ヲ元ニシテ、數
ヲ殖ヤスト云フコトニ努メテ參リタ
イ、斯ウ考ヘテ居リマス、併シ一定ノ
計畫ヲ以テドウト云フ程ノコトハ今ハ
ゴザイマセス

○馬場委員長代理 小坂サンニ申上ゲ
マスガ、午後本會議ガゴザイマスノ
デ、各黨ツレノ御用事ガアルト思ヒ
マスカラ、明日ニ御續行願ヒマシテ、
本日ハ之ヲ以テ散會致シマス、明日ハ
午前十時カラ開會致シマス
午後零時二十分散會

〔参照〕

- 細野委員及ビ田中委員要求資料
一、農林中央金庫最近ノ試算表
（總勘定元帳中各科目ニ於ケル
各項目ヲ詳細ニ記述スルコト）

昭和二十一年九月十八日印刷

昭和二十一年九月十九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局